

# 報告書〔6〕 分析結果及びフローシート

## 6 ノニルフェノール 7 4-t-オクチルフェノール

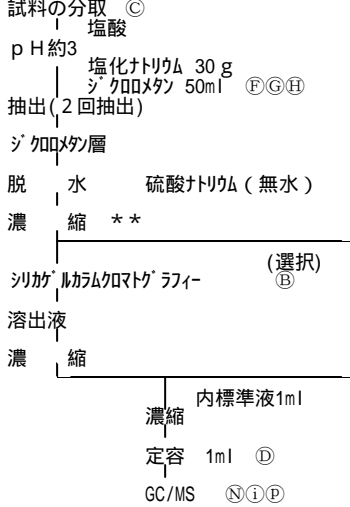
分析実施機関名	整理番号	*	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001 2. ISO 9002 3. ISO 9003 4. ISO 14001 5. なし
分析主担当者名		*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)	検体

分析項目	注1) 分析結果 (μg/l)	標準偏差 (μg/l)	測定回数 (回)
ノニルフェノール	⑤	⑥	⑦
4-t-オクチルフェノール	⑧	⑨	⑩

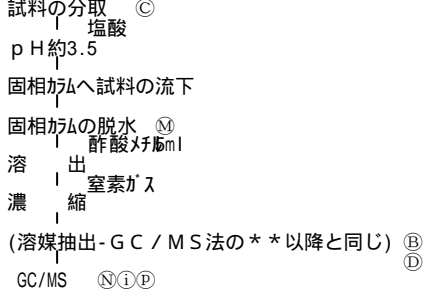
注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。

分析開始日	⑪	月	日
分析終了日	⑫	月	日

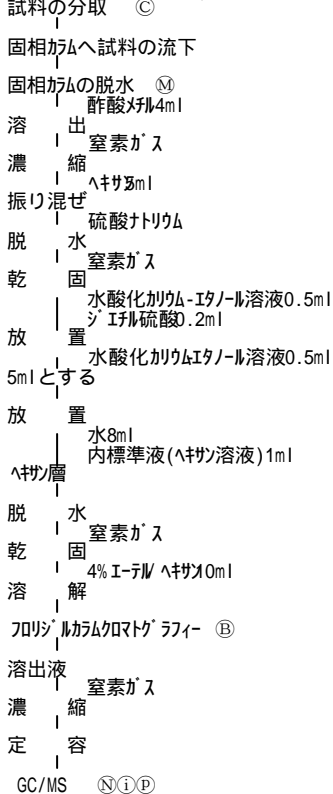
### < 溶媒抽出-GC/MS法 >



### < 固相抽出-GC/MS法 >



### < 固相抽出-GC/MS法(イリ誘導体化法) >



### < 分析法等 >

分析法	① 1. 溶媒抽出-GC/MS 2. 固相抽出-GC/MS 3. 溶媒抽出-GC/MS(イリ誘導体化法) 4. 固相抽出-GC/MS(イリ誘導体化法) 5. その他( )
クリーンアップ	② 1. フロリジウムカラムカラムトラフ 2. シリカカラムカラムトラフ 3. 実施しない
試料量	③ ( ) ml
最終定容量	④ ( ) ml
濃縮方法	⑤ 1. KD 2. ロ-クリ-エバポレーター 3. その他( )

### < 溶媒抽出条件 >

抽出溶媒の種類	⑥ 1. ジクロロメタン 2. その他( )
抽出回数	⑦ ( ) 回
溶媒量	⑧ ( ) ml / 回

### < 固相抽出条件 >

固相の種類	① 1. カラム型 2. ディスク型
充てん剤種類 粒径 量	② 1. ポリスリノ系 2. ポリメタクリレート系 3. ODS系 4. その他( ) ③ ( ) μm ④ ( ) g
脱水方法	⑤ 1. 遠心分離 2. 吸引 3. その他( )

### < 分析条件 >

機器型式(GC) 機器型式(MS) 測定質量数 GC/MS 装置型式 イリ誘導体化法	メーカー( ) 型式( ) メーカー( ) 型式( ) ⑥ 1. ノニルフェノール( ) ⑦ 2. 4-t-オクチルフェノール( ) ⑧ 1. 単集束 2. 二重集束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他 ⑨ 1. SIM法 2. スキャン法
カラム型式 カラム形状	メーカー( ) mm ⑩ 長さ( ) m ⑪ 膜厚( ) μm
カラム昇温条件	初期温度 _____ 保持 _____ 分 / 分 _____ ~ _____ / 分 _____ ~ _____ / 分 最終温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	⑫ 1. N <sub>2</sub> 2. He 3. その他( ) ⑬ ( ) ml/分
試料注入部温度 試料注入方法	⑭ ( ) ⑮ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム

### < 検量線の作成等 >

定量方法	⑯ 1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 内標準物質の種類: ノニルフェノール用: ⑰ 種類( ) ⑱ 添加量( ) ng 4-t-オクチルフェノール用: ⑲ 種類( ) ⑳ 添加量( ) ng 種類リスト 1. ナフタレン-d <sub>8</sub> 2. フェナントレン-d <sub>10</sub> 3. ビレン-d <sub>10</sub> 4. アセナフテン-d <sub>10</sub> 5. フルオランテン-d <sub>10</sub> 6. その他( )
試薬(標準原液)	㉑ 1. 購入 2. 自作 1. の場合メーカー( )
ノニルフェノール	検量線 ㉒ 作成点数( ) 範囲 ㉓ ( ) ~ ㉔ ( ) 単位 ㉕ 1. ng(注入量) 2. μg/l(濃度) ㉖ 最高濃度のピーク高又は指示値( ) 試料溶液フランク ㉗ ピーク高又は指示値( ) ㉘ ピーク高又は指示値( )
4-t-オクチルフェノール	検量線 ㉙ 作成点数( ) 範囲 ㉚ ( ) ~ ㉛ ( ) 単位 ㉜ 1. ng(注入量) 2. mg/l(濃度) ㉝ 最高濃度のピーク高又は指示値( ) 試料溶液フランク ㉞ ピーク高又は指示値( ) ㉟ ピーク高又は指示値( )
検出下限値	㊱ ノニルフェノール ( ) μg/l ㊲ 4-t-オクチルフェノール ( ) μg/l

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

試料溶液の調製について	-----
測定方法について	-----